

令和6年度えひめ自主防災フォーラム アンケート(質問)

番号	会場	質問	回答
1	中予(主会場)	○大浦2区自主防災会が取り組んで設置している防災倉庫は断熱されているのでしょうか？食べ物を入れている所があり、心配。	大浦2区自主防災会では、各防災倉庫の内側に発泡スチロールのような素材を購入し貼り付けて断熱していましたが、時間が経つと外れる箇所があったため、非常食などの食料は入れていません。今後、断熱について改良していく必要があるとのことです。
2	中予(主会場)	○自主防災組織の都道府県別世帯カバー率はどれくらいか。	全国のカバー率は85.4%です(R5.4.1時点)。 なお、愛媛県は94.5%です。 (カバー率)=(自主防災組織がその活動範囲としている地域の世帯数) / (全体の世帯数)
3	中予(主会場)	○高齢者対策としての個人情報の取扱いについてお聞きしたい。私たちの地区の自主防災組織も民生委員さん、社協さんとの連携が問題である。	個人情報の取得、提供については、災害対策基本法等に基づき、厳密に管理されており、必要な場合には提供先を限定して情報共有を行うなど、災害支援に役立つ制度となっております。 避難行動要支援者名簿、個別避難計画は厳密な管理が必要とされており、計画の策定にあたっては本人の同意を得て、地域の関係者へ個人情報を提供していくこととなります。県としても防災・福祉等関係者の研修等の機会を通じて、制度に関する情報を提供してまいります。
4	中予(主会場)	○県職員や高校生に強制や挙手制で防災士の資格を取っていると思います。それは、県職員において、愛媛の防災意識を高めるためなのか、全国1位のためか教えていただきたいです。	県職員の防災意識と災害対応能力の向上を図るため、①県災害対策本部職員②防災部局職員への新規異動者③災害時情報収集職員(リエゾン)④県被災地派遣候補者⑤大規模災害の経験がない新規採用職員を重点対象として育成しています。
5	東予	○防災士として、地元で実際動いている方が少ないので他市に勉強に行かなければなりません。防災士数だけでなく質の向上又Step upを教えてください。	県としても、防災士の質の向上が重要と考えており、①消防学校での地域防災リーダー養成講座のほか、②身近な地域で知識や情報の交換が出来るよう地方局支局単位でブロック会議を開催しています。 詳しくは、①消防学校、②各市町の防災担当課にお問い合わせください。今後とも、市町と連携して防災士の質の向上に取り組んでまいります。

その他多数の御意見をいただき、ありがとうございます。次回のフォーラムに参考とさせていただきます。